

## 充実した2学期となりました！！

83日の長い2学期が終了しました。大きな行事や日々の学習活動に全力で取り組んだ子どもたちは、大きく大きく成長しました。保護者や地域のみなさんには折に触れ、褒めたり、励ましたりしていただき、子どもたちの成長を支えていただきました。本当にありがとうございました。



### クラブ活動楽しかったね

今年度は、地域のみなさんに講師を務めていただいたクラブが7つありました。どのクラブも講師の先生の専門性を生かした熱い指導が繰り広げられました。



ダンスクラブ



書道クラブ



パソコンクラブ



フラワーアレンジメントクラブ



昔遊びクラブ



卓球クラブ



茶道クラブ

#### クラブ講師のみなさんからの感想

- とにかく楽しかった。教えるとかではなく、久々に昔に返って子どもたちと活動できて、自分がとても楽しかった。
- みなさん熱心に活動に取り組んでくれて嬉しかった。道具を買って家族でお茶を点てると聞いて、少しは役に立てたかなと思いました。
- ノートに活動の記録などを書いて蓄積していけばよかったかな。一緒に講師をしてくださる方がいてくれると、もっと子どもたちの様子を見てあげられたかなと思います。

子どもたちの感想 やり方が分からなかったり、上手くできなかったりした遊びもできるようになって嬉しかった。竹とんぼを作るときなど実際に体験できてよかった。勝負している時、講師の方々をサポートしてくださってよかった。竹とんぼを作っている途中もサポートしてくださり、うまく飛ばせることができました。昔遊びクラブ 6年生の感想より

どの講師のみなさんからも、「一緒に指導してくれる方がもう少しいてくれると、もっと子どもたちを見てあげられるのに」という声が聞かれました。

来年度もクラブ活動には講師の先生をお招きする予定です。「お手伝いしてみたい!」という方、大歓迎です。ご連絡ください。



# 「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」 で発表してきました！ 12月3日（日）メセナホール



12月3日（日）にメセナホールで行われた「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」に参加してきました。今年度日滝小学校は「学習発表会」の機会をいただき、PTAのみなさん、児童会役員、ボーカルアンサンブル部、4年東組のみなさんが、差別をなくすための学校での取り組みを発表しました。

オープニングはボーカルアンサンブル部と6年・4年の子どもたちで歌を歌いました。次にPTAのみなさんが、「笑顔で会話、深めよう親子の絆」をテーマに取り組んできた今年1年の活動を報告しました。今年度初めて開催した、親子交流会（味噌作り、ニューススポーツ体験）で親子の絆を深めた様子や人権同和教育推進部のみなさんの子どもたちに行っていた「読み聞かせ」を実演しました。次に6年生の児童会役員のみなさんが児童会の取り組みを紹介しました。姉妹学級で貼り絵を完成させた取り組みや、全校での手つなぎ鬼大会などを紹介しました。そして4年東組のみなさんは、クラスで取り組んでいる「手話」の活動について紹介しました。聴かく障がいをもつ保護者の方との交流や、長野ろう学校への訪問などをとおして分かった「人と分かり合うことの喜びや大切さ」について発表しました。最後は「手話」を入れた「友だちになるために」をPTAのみなさんと子どもたちで歌いました。この学習発表会をとおして、自尊感情を育むことの大切さや、人と人との関わり方の大切さについて改めて自分たちの取り組みを振り返ることができました。そして、その取り組みが、間違いなく「部落差別をはじめあらゆる差別をゆるさない」子どもたちを育てることにつながると確信することができました。

## 日滝小のお宝発見

子どもたちを思いやる温かな気持りが  
日滝小のお宝です



日滝小学校にある二宮金次郎さんは、とても貴重であること、長い間地域のみなさんに守られて今ここにあることがわかりました。11月に埼玉県から、全国の二宮金次郎さんを回っているという吉田さんが学校を訪れました。吉田さんによると、この金次郎さんは、銅でできた立派なもので、戦時中金属の供出があったにも関わらずここにこうしてあるということは、地域のみなさんが子どもたちのために苦勞して守り抜いてくださったからだとのことでした。これからも大切にして、日滝の子どもを見守ってもらいます。

図書館の前には、毎日届く「信毎こども新聞」を読むための台があります。休み時間になると、この台の前には必ず子どもたちが集まり、思い思いに興味のある記事を読んでいます。この台と毎日届く「子ども新聞」こそがお宝です。日滝小学校を卒業し、現在は埼玉県にお住まいの中村信吉さんが何十年にもわたって「日滝の子どもたちに新聞を読ませたい」という思いで、寄付し続けてくださっているのです。80歳を越えるご高齢の中村さんの願いは、このたびPTAに引き継がれることになりました。

